（小６４）鹿児島市立福平小学校

令和３年１２月２４日

令和３年度　学校評価　自己評価（２学期）

１　学校の重点目標

〇　基礎・基本の確実な定着とそれを活かす思考力・判断力・表現力の育成

〇　お互いの「よさ」を認め合い，大切にし合う教育活動

〇　運動に親しみ、心身の健康の大切さ、高い安全意識、生命の尊さを学ぶ健やかな体つくり

２　課題と改善策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 職員 | 評価結果と改善方法 |
| 学校組織力及び資質向上 | １　学校教育目標の具現化  ２　校務分掌の遂行  ３　専門性を高める研修  ４　各種便りHPでの情報発信  ５　服務規律の遵守  ６　業務改善 | 3.0  3.2  2.7  3.1  3.7  3.0 | ・　校外研修会参加が少なかったが、校内テーマ研修の計画的で充実した研修を深めることができた。  ・　子どものよさを伝える学級通信やHPの情報発信  　の工夫に努める。  ・　業務改善意識の高揚、アクションプランの設定による残業時間の削減など業務改善の実践を図る。 |
| 豊かな心の育成 | １　「聴き方名人」としての傾聴  ２　あいさつの率先垂範  ３　楽しい学校づくり  ４　ボランティア・JRCの推進  ５　清掃活動 | 3.1  3.4  3.1  2.8  3.3 | ・　「聴き方名人あ・い・う・え・お」の推進  ・　自他の「よさ」を認め合う場の設定で自己肯定感の育成に努める。  ・　いじめ・不登校の早期発見・早期対応を学校全体として丁寧・迅速に対応できる組織体制の強化に努める。 |
| 学力向上 | １　達成目標の設定と子どもが満足する学習指導  ２　学習のめあて・まとめの板書  ３　互いに説明する活動の設定  ４　一人学びと発表で思考力・判断力・表現力  ５　ドリルの徹底  ６　ICT活用、プログラミング教育の開発  ７　主体的な家庭学習 | 3.1  3.3  2.7  2.9  2.8  2.8  3.0 | ・　「終末１０分間の充実」の時間確保及び、学習内容の定着を図る。  ・　ロイロノートの活用、一人一台のタブレットに向け、道徳を中心とした活用を推進する。  ・　授業と連動した家庭学習の工夫と家庭と連携した  　見届けに努める。 |
| 体力向上・健康・安心・安全 | １　規則正しい生活  ２　なわとびを中心とした体力づくり  ３　時間跳び、逆上がり、開脚跳びのクリア  ４　下校指導や安全指導での危険回避  ５　スマホ・タブレット・ゲームのルール作りの  　啓発 | 2.9  2.6  3.4  2.9  3.0 | ・「早寝・早起き・朝ご飯」をもとにした規則正しい生活リズムへの保護者との連携を図る。  ・　なわとび運動の時間設定及び目標設定による継続的な取組を推進する。  ・　危険予知・回避能力の育成のために、継続的な指導を徹底し、子どもの安全意識の向上を図る。 |

３　次学期に向けての取組

　〇　学習の定着を図るために、学力向上Web等の活用をすすめ、課題分析・解決をチームで行う。

　〇　一人学びや発表の場を設定し、思考・判断・表現力を育成するとともに自己肯定感を高める。

　〇　登校しぶりや問題行動への早期の働きかけや組織的に適切な解決に向けて取り組む。